

# 平成27年度第2回 秋田県バリアフリー社会形成審議会 議事録（要旨）

## 1 日 時

平成28年2月12日（金） 14：00～16：00

## 2 場 所

秋田県庁議会棟特別会議室

## 3 出席者

### ・ 委員（50音順、敬称略）

石山真季、伊藤隆康、門脇琢也、櫻庭慧子、澤藤聖、船山悟、星野勇、  
三浦亨子、渡邊綱平

※13名中9名出席

（参考）欠席の委員：朝田司、大庭喜美子、齊藤靖子、高橋ともみ

### ・ 県庁各課

総務課、総合政策課、観光戦略課、観光振興課、長寿社会課、子育て支援課、  
障害福祉課、県民生活課、産業政策課、建設政策課、道路課、教育庁総務課、  
教育庁総務課施設整備室、警察本部（警務課・会計課・生活安全企画課・  
少年女性安全課・交通企画課・交通規制課）

### ・ 事務局

進藤健康福祉部長、成田参事（兼）福祉政策課長、千葉福祉政策課政策監、  
福祉政策課地域福祉・監査班員

## 4 議事（●委員の意見及び質疑等、○事務局及び県庁各課からの回答等）

（議事1）「バリアフリー社会の形成に関する基本計画（第3次基本計画）」（案）の概要に  
ついて

・ 事務局から配付資料により説明

（質疑応答）

●学校に係る部分で副読本の割合が90.2%である。残りの未使用学校は例年同じ学校か。今後の利用推進の活動の参考にしたい。

○未使用校の詳細は把握していないが、使わない理由としては、時間がとれないなどがある。そのようなところで使える概要版なども作成する必要も有ると思われる。

●数値目標の設置の基準などあるか。また実績の確認方法はどうか。

○これまでの実績等を検証し数値目標を設定している。実績の確認方法だが、例えば、先ほどの副読本の場合、3年に一回アンケート調査を実施している。平成28年は全面改定を行うこともあり、今以上の活用率を目標としている。県有施設のバリアフリー化率については、年一回、市町村も含め公共施設のバリアフリー化を調査している。今期に目標を達成出来なかったことから、進捗の状況も勘案し、再度目標として進捗管理したいと考えている。

●計画スパンが長いと感じるが、1年ごとに事業成果をしっかりと検証してもらいたい。

●障害者に対する差別解消に向けた取り組み等を具体的に記載してもらいたい。

○今日の審議会や福祉環境委員会での検討等を踏まえ、具体的に記載できるものについては記載したい。

## **(議事2) 平成28年度バリアフリー関連事業について**

・事務局から配付資料により説明

### **(質疑応答)**

●「バリアフリースターセンター」はどこに設置されるか。

○旅のサポートセンターとして第2庁舎1階の一般社団法人秋田県観光連盟内に設置する。

## **(議事3) 「障害者等駐車場利用証制度」(パーキング・パーミット制度)の概要について**

・事務局から配付資料により説明

### **(質疑応答)**

●利用できる駐車区画を車いす使用者用とそれ以外の歩行困難者用に色分けするのか。

○利用証の色分けは、現在は、案のとおり考えている。駐車区画の案内標示は県が用意する。区画の塗装については、協力施設に可能な範囲で依頼していきたい。

●緑の利用証で青の案内標示がある区画に駐車可能か。

○あくまで優先区画とするため利用は可能であるが、なぜ幅の広いスペースなのかという根本的な啓発もし、利用対象者であっても、幅が広いスペースを必要とせず、比較的前方の一般スペースに駐車するなど、譲り合うように啓発したい。

●利用証を交付しても、マナーに頼るやり方では改善されないのではないか。

○一部から、制度を条例化し罰則規定を設けるべきとの要望もある。だが、それは民間業者等に新たな負担を求めるものであり、理解を得るために相当の時間を要するものと思われる。同様の制度は全国34府県で実施されているが、本県と同様に施設や県民の協力により制度が成り立っている。まずは、この方法で実施してみたいが、制度導入後も状況改善が見られないような場合は、必要に応じて整備基準の見直し等を検討していく。

●是非TVなどで大々的に制度のPRをしてもらいたい。

○PRの必要性は認識している。また、制度導入した後も意識が風化しないように定期的にPRしていきたい。

●パーキング・パーミット制度は広報がもっとも重要になる。県民に制度を浸透させ、将来的にもしっかりと運用される事業にしてほしい。

●対象者は運転手だけか。同乗者でも利用可能か。

○同乗の場合も利用可能である。

#### 4 その他

(報告) 平成27年度秋田県バリアフリー推進賞について

・事務局から配付資料により説明

(質疑応答)

●雪カッターは少ない力で作業でき、また雪が運びやすくなり、地域住民かも喜ばれていることを実感した。

●今回の理容店は病院の改築に伴い、病院側と交渉し、ストレッチャーでも入店できる広いスペースを確保している。スタッフの介助も以前からよいところである。

ショートステイ施設に関しては、食事や入浴の時間を利用者の希望に沿って設定して

いることが好印象であった。

## 5 閉会